

科目名	人権	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			法律学科	□必修 ■選択	
			国際学科	□必修 ■選択	
英文表記	Human right	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年		
		開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中		
ふりがな	さとう ひろし	実務家教員担当科目		修得単位	4単位
担当者名	佐藤 寛稔	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	人権という言葉の意味を理解し、社会で起こる様々な人権問題について考察する。				
到達目標	社会で起こる様々な人権問題に憲法学的な視点から検討できる。				
授業概要	近代国家において、「人類普遍」原理とされる人権。この極めて哲学的な概念が、実定憲法に組み込まれることによって、その法的保障が確保されることになるが、一方で限界も明らかにある。本学では、人権の価値とその制約について詳細に検討することとする。				
授業計画					
第1回	ガイダンス 世界の人権保障・日本の人権保障	第17回	信教の自由		
第2回	人権の歴史性と普遍性	第18回	政教分離		
第3回	移動の自由・奴隷的拘束からの自由	第19回	学問の自由・大学の自治		
第4回	法定手続の保障・刑事手続の保障	第20回	集会結社の自由・家族形成の自由		
第5回	生存権	第21回	幸福追求権①—性格と範囲		
第6回	教育権	第22回	幸福追求権②—新しい人権		
第7回	労働権	第23回	人権の意義		
第8回	職業の自由	第24回	人権の享有主体① 自然人（天皇・外国人）		
第9回	財産権	第25回	人権の享有主体② 法人		
第10回	国家賠償・刑事補償請求権・裁判を受ける権利	第26回	人権の到達範囲（人権の私人間効力）		
第11回	思想・良心の自由	第27回	人権の制約原理—公共の福祉論の展開		
第12回	表現の自由①—意味・歴史・機能	第28回	人権の制約原理—違憲審査基準論		
第13回	表現の自由②—知る自由と権利	第29回	法の下での平等① 平等の理念平等条項の意味		
第14回	表現の自由③—報道機関の自由	第30回	法の下での平等②平等違反の審査方法・判例に見る平等問題		
第15回	表現の自由④—表現内容規制表現内中立規制	第31回	期末試験		
第16回	中間試験	第32回			
授業時間外の学習	新聞等をよく読むこと 教科書を事前によく読むこと（2時間）				
履修条件 受講のルール	「統治機構」を履修し、単位を修得していることが望ましい。（必須の条件ではない。）				
テキスト	渋谷 秀樹 赤坂 正浩『憲法1 人権 第8版』（有斐閣） 電子版でも可				
参考文献・資料	六法を必ず持参のこと				
成績評価の方法	期末試験 50% 中間試験 30% レポート 20%				
オフィスアワー	火曜日 9:00～10:30 水曜日 9:00～10:30				
成績評価の基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)				
実務経験及び実務を活かした授					

業内容	
学生への メッセージ	人権は近代国家の英知の結晶です。高い志をもって学びましょう。